

じゅんれいおつるなみだのこもりうた

# 順礼鶴涙子守唄

講談と人形



人形浄瑠璃とくしま座レクチャー&公演  
平成29年3月19日(日)17時半開場／18時開演

徳島の定番「傾城阿波の鳴門順礼歌の段」は、お母さんのお母が主役。

これを、子供のおつるの視点から見るとどうなるのか、

昨年度一年間かけて、観客のみなさんにご意見もいただきながら考えてきた新作です。

今回は、玉田玉秀齋さんをお迎えして講談で語っていただきます。

## 出演者

講談師 玉田玉秀齋

講談のことを何も知らない司法浪人時代に「講談師も弁護士も最後に“し”がつくから一緒や」という師匠の一言で、講談師になった変わり種!! 英語、スウェーデン語などを使いこなす国際派講談師。ジャズ講談など音楽とのコラボレーションも大好評。2011年11月、旭堂小南陽に入門。2004年ブラジルにてポルトガル語講談、7月アメリカ・ボストンにて英語講談を実施。ラジオ NIKKEI「南陽の関西講談ウォーク」毎週土曜日 8:00～放送中。2016年11月に旭堂南陽から四代目玉田玉秀齋を襲名。

## 浄瑠璃人形遣い 勸緑

元(財)文楽協会技芸員、人形座「木偶舎」主宰。高校の頃から人形を遣い、早稲田大学で演劇を学び、中退後1977年文楽の世界に飛び込む。1979年二世桐竹勘十郎(人間国宝・故人)に入門。1987年から三世吉田養助(人間国宝)に師事。人形浄瑠璃の普及・発展と文楽人形の新しい可能性を求めて、2012年1月、33年間在籍した文楽座を辞しフリーの人形遣いに。全国各地の人形芝居の指導・演出や徳島県の農村舞台復活にも積極的に取り組んでいる。

## 人形浄瑠璃とくしま座

平成19年の国民文化祭で瀬戸内寂聴原作の新作人形浄瑠璃「モラエス恋遍路」を上演するため公募で結成したモラエス人形座を母体に、平成20年4月に発足。元文楽座技芸員の浄瑠璃人形遣い「勸緑」師匠を芸術監督・指導者に迎え、研鑽を積み、各地で公演活動を行っている。

## 会場

徳島県立阿波十郎兵衛屋敷  
徳島市川内町宮島本浦184  
Tel.088-665-2202、Fax.088-665-3683  
<http://joruri.info/jurobe/>

## 入場料

一般410円、高・大300円、小・中200円

## 主催

人形浄瑠璃とくしま座・阿波十郎兵衛屋敷

## 助成

阿波銀行学術文化振興財団